



ちゅうりっぷ タイムス

社会医療法人三愛会
介護老人保健施設わさだケアセンター

～食事介助について～

毎月わさだケアセンターでは勉強会を行っています。その中から、今回は食事介助について行った勉強会の内容を紹介します。

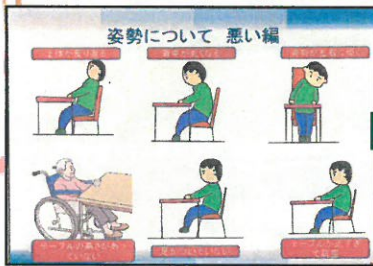
※食事で一番気をつけたいこと！

食事介助の際に一番気をつけたいこととは、やはり誤嚥や窒息にならないようにすることです。そのためにも、食事を食べる時の姿勢がとても大切になってきます。

避けたい事

誤嚥
唾液、逆流したものなど、防ぐことがむずかしい誤嚥が多くあります。そのため不可避に肺炎になることもあります。
だからこそ、食べ方、食べ方も正しい方で防げる誤嚥・窒息は避けたいですね！

窒息



- 姿勢のポイントとして
- ・首が反り返らないようにする
 - ・テーブルと体の間はこぶし1つ分くらいのスペース
 - ・足底は床についている
 - ・股関節や膝関節の角度は90度かそれよりやや大きめ

職員が正しくない姿勢での食事・正しい姿勢での食事をしてもらい、それぞれの違いを体験してみました。



看護師長より

今年4月より、わさだケアセンターの看護師長として就任いたしました。看護師になって30年、救急病棟に勤務し病棟・外来での看護に従事してまいりましたが、地域包括システムの中での重要な位置づけにある介護老人保健施設での勤務は不勉強なこともあり、試行錯誤の毎日です。当施設は、在宅強化型施設として認定されており、高齢者ができる限り住み慣れた地域で尊厳をもって自分らしい生活を送ることができるよう様々な取り組みを行っています。平成25年度から重点的に取り組んでいる口腔ケアは、誤嚥性肺炎の予防や口腔機能低下の予防・改善を目的に、平成27年度より歯科医師・歯科衛生士の指導のもと、ケア回数や手技の統一を図るべく継続して行っています。

施設での看護師の役割は、利用者様の健康管理はもとより、利用者様の意思を尊重し、質の高い生活を送れるよう多職種と連携し支援していくことだと考えます。利用者様の笑顔を見るとき、医療の現場とは違った「心と心のつながり」を感じております。また、関連医療機関との連携の大切さも実感しております。利用者様のニーズに少しでも応えられるよう、そして利用者様や職員が笑顔でいられるよう、これからも努力してまいりますので、今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

看護師長 廣瀬真由美